

|          |   |   |
|----------|---|---|
| 目指す学校像   | グローバル化した国際社会のなかで良き形成者・リーダーとして心豊かで実践力のある人間を育成する学校。   | 学校関係者評価は、PTA 役員、後援会役員、同窓会役員、学園評議員からなる学校関係者評価委員会による。 |
| 本年度の重点目標 | 1 学力の向上と進路の保障 学ぶことの大切さ、理解することの喜びを体得させ、生徒の実態にあった指導を研究し、魅力的で実力のつく授業の展開を図る。<br>2 礼儀正しい態度の養成 社会の中の一員としての自覚を持たせ、自分を律していくことで自他の心を大事にする必要性をわからせる。<br>3 クラブ活動の育成強化 生徒の特技や情操を高め、心身の健全な成長を図ると共に、愛校心を育てるためクラブ活動を重視し育成強化していく。<br>4 地域との連携強化 地域の文化の砦としての信頼を得ると共に、積極的に交流を深め、地域の活性化の一躍を担う。 |   |

| 年度目標 |  |   |   | 年度評価  |   |   |  |  |   |
|------|--|---|---|---|---|---|--|--|---|
| 番号   | 評価項目   | 現状と課題   | 具体的な方策  | 評価指標  | 具体的指標   | 中間評価  | 達成状況   | 中間評価時の外部評価と令和5年度への課題と改善策   | 最終評価  |
| 1    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学力向上</li> <li>●学習環境の整備</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全コースで学力向上が急務である。クラス内生徒の学力幅が広い。学力や意欲に応じた課題の出し方に工夫の余地がある。</li> <li>●入学から進路実現まで生徒・保護者から満足できる学校生活の確保が求められている。中でも学習環境や生徒理解という観点は高い。</li> <li>●英検受験者は増加傾向で今後合格率を上げることに力を入れる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●授業の充実→教科研修や教科会の活性化。教科主任会、コース長会の継続的開催。</li> <li>●家庭学習の定着→宿題、スタサプ、デジタル教材等の活用。</li> <li>●赤点者の減少と評定値の適正化→赤点者対象の定期試験前講座等実施。</li> <li>●進学基礎講座の開設。</li> <li>●教科研修、教員研修、学校研修を増やす。</li> <li>●2年次に「探究ゼミ」を実施。</li> <li>●英検ウィークの実施とスタサプ English の有効活用。</li> <li>●エンパワーメントプログラム、国内短期留学の実施。</li> <li>●オンライン英会話を計画通り(年間5回)実施。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教科会が活発に行われ、研修会や教材研修を通じて授業力向上ができたか。</li> <li>●デジタル教材等が効果的に活用され質の高い学びができたか。</li> <li>●観点別評価基準がスムーズに運用できたか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学期ごとの赤点者率15%以内、学年2%以内。</li> <li>●漢検取得率 60%</li> <li>●英検取得率 選抜Ⅱ・アスリート3級30.7%、S特・選抜Ⅰ2級6.7%、準2級41.8%</li> <li>●実力テスト 実力テストCランク以上 1年16% 2年13% S特進平均偏差値50以上全学年クリア 上位層70以上2.3年クリア 選抜Ⅰ平均偏差値43.6 上位層60.7</li> </ul> | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学期ごと赤点% 23.3%</li> <li>●学年ごとの赤点%6.9%</li> <li>●漢検取得率58.2%</li> <li>●英検取得率 選抜Ⅱ・アスリート3級30.7%、S特・選抜Ⅰ2級6.7%、準2級41.8%</li> <li>●実力テスト 実力テストCランク以上 1年16% 2年13% S特進平均偏差値50以上全学年クリア 上位層70以上2.3年クリア 選抜Ⅰ平均偏差値43.6 上位層60.7</li> </ul> | (中間外部評価)<br>赤点数減少に向けた取組みの推進を図ってください。在校生の特性、個性を伸ばす教育も推進してほしい。<br>(課題と改善策)<br>1. デジタル化の推進 スタディサプリを活用した家庭学習の定着<br>2. 定期試験の共通問題出題、サポートスクールに設定により、クラス間格差、赤点者を減少させる。<br>3. 教科会で外部模試の事前指導、振り返りについて更に推進する。<br>4. ムサオゴ探究ゼミで生徒のアクティブラーニングを促し、自己肯定感を養う。外部コンテストに参加し、生徒が外部に向けて発信できるプレゼンテーション能力を身に付ける。 | A   |
|      |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒個々の適性を見極め、将来有益な人材として活躍できるよう指導する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年で到達目標を達成できるような企画の精査を行う。</li> <li>●高校卒業後の進路に対して安易な選択に陥らないような指導をする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●進路イベントの実施と精査</li> <li>●GTZ 基準での大学群のレベルの明確化。</li> <li>●データに基づいた的確なアドバイス。</li> <li>●タームごとの到達度目標設定</li> <li>●進路指導部面談の実施</li> <li>●学年、担任との連携</li> <li>●キャリアパスポートを作成させる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●大学・短大進学率 80%</li> <li>●適切な進路指導で生徒・保護者の満足度は得られたか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●大学・短大進学率</li> </ul> | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●四大学進学希望者数 75.4%、短大進学希望者 6.2%</li> <li>●合計 81.6%</li> <li>●3年生全員進路指導部面談を実施。</li> </ul>  | (中間外部評価)<br>進路指導への成果が出てきている。本校の良さである面倒見の良さが進路指導でも生きている。<br>(課題と改善策)<br>1.進路イベントの精選<br>2. GTZ のD層を減らす方策。他部署との連携<br>3. 早期動機づけ |
| 2    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「挨拶」「礼儀」「校内美化」「授業規律」の習慣化。</li> <li>●いじめ防止、撲滅に向けての活動。</li> <li>●SNS、携帯依存の問題への取り組み。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●挨拶について「分離礼」の習慣化の取り組みを始めた。</li> <li>●いじめ・SNSの誹謗中傷等の問題行動撲滅に向けて各分掌と連携する。</li> <li>●生徒指導案件0に向けた取り組み。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●新アンケート「こころの健康について」の実施。各分掌との連携により事前指導、早期発見に努める。</li> <li>●礼節文化体験講座の実施。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●身嗜み再検査件数を減らすことができたか。</li> <li>●生徒指導件数を減らすことができたか。</li> <li>●転・退学者を減らすことができたか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒指導件数</li> <li>●非卒業率</li> </ul>  | B   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●転退学者数 R4 年卒業生 入学時 342 名⇒卒業時 325 名</li> <li>●指導件数 11 件 27 名</li> </ul>  | (中間外部評価)<br>男子のツーブロックについては慎重に対応を。制服については選べるアイテムが欲しい。<br>(課題と改善策)<br>1. プレのない指導<br>2. 面談、アンケートを通じて早期発見と解決<br>3. SNSトラブル未然防止   | A   |
| 3    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒の心身を鍛え、特技・特性を伸ばし、集団の一員として行動できるようにさせる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校行事に積極的に取り組むことができています。</li> <li>●部室の清掃、部日誌の活用で自治活動の推進が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校行事や部活動を通じて人間的に成長できるように適切な課題を設定する。</li> <li>●部室点検、部活動日誌の定期点検。</li> <li>●生徒会、各委員会との連携と、生徒への支援、協力体制を図る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●部活動加入率</li> <li>●部活動の実績</li> <li>●部日誌の有効活用</li> <li>●学校行事の実施状況</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●部活動加入率</li> <li>●部活動実績</li> </ul>   | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●部活動加入率 82.6%。●3年ぶりに文化祭・体育祭を実施。●関東大会出場柔道、男子ソフトテニス、バドミントン、チアリーダー、陸上。全国大会男子ソフトテニス、チアリーダー、和太鼓。</li> </ul>  | (中間外部評価)<br>学校におけるリスクマネジメントについては研修すべき。勉強と部活動を両立できる体制を。<br>(課題と改善策)<br>1. 学校外でのマナー、モラルを高める指導<br>2. 部活動の SNS を活用した広報活動   | A   |
| 4    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●開かれた学校を目指し、地域・保護者と連携する。</li> <li>●定員確保による学校評価。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●PTA、後援会、同窓会の連携により、学校行事及び教育活動の運営に更なる成果を求める。</li> <li>●380名の定員に届かない。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●PTA・後援会・同窓会の活動を通じ魅力ある学校作りを推進。</li> <li>●生徒募集関係イベントの質の向上。</li> <li>●Webの積極的活用。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校評価委員会、PTA、後援会からの評価。</li> <li>●募集定員を集められたか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●中学・塾交流</li> <li>●P・後・同連携</li> <li>●HP アクセス数</li> </ul>  | A   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●説明会において在校生による学校紹介をとり入れた。Webの積極的活用。(インスタ、ツイッター)。</li> <li>●同窓教員交流会の実施。●PTA文化祭、強歩大会での運営補助。後援会校内清掃実施。</li> </ul>  | (中間外部評価)<br>15歳人口減少に伴う施策をどう打ち出すか。<br>(課題と改善策)<br>1. 女子募集強化<br>2. 上位コースの募集強化<br>3. SNS を活用した広報宣伝活動強化  | A   |

達成度 A:ほぼ達成(80%) B:概ね達成(60%程度) C:変化の兆し(40%前後) D:まだ不十分(40%未満)